

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②事業者情報

名称：浦和いろは保育園	種別：保育所
代表者氏名：名塚 淳子	定員(利用人数)：100名
所在地：〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤8-15-9 TEL：048-826-5407	

③評価実施期間

令和4年11月5日(契約日)～令和5年3月31日(評価結果確定日)

(4)総評

◇特に評価の高い点

○園長は浦和事業所と連携してリーダーシップを発揮し園運営に取り組んでいる

現在、職員の離職も落ち着き園の運営は順調であり、法人内の系列3園の園長同志の横のつながりを作り支援もあるため、園長が安心して園の運営を行うことが出来ている。また、園内においては、園長は非常勤職員も含め職員が気軽に各種の相談をできるように受け付け、職員一人ひとりの意向・ニーズを傾聴し、ライフワークバランスおよび働きやすい職場実現に向けて取り組んでいる。

○子どもの自主性や主体性を育む戸外活動を充実させている

園庭に加え、自然豊かな公園、広場や遊具のある公園、広場でボール遊びも可能な公園など、地域には戸外活動を満喫できる各種の公園が点在している。園ではそれらの豊かな自然や社会資源を活用した活動に力を入れている。豊富な各種の戸外活動については、今回行った保護者アンケートからも高い評価が得られている。さらに、それらの活動においては、子どもがやりたいことができるように配慮しており、泥だらけになっても汚れても制止しない支援を実施している。主体性を持って遊び込める環境が整っていることがうかがえる。

◇特にコメントを要する点

○ボランティア・実習生等の受け入れおよび地域交流・貢献に取り組まれない

コロナ禍発生以来、小学生の「街見学」に協力した園見学は行ったが、現在まで実習、職業体験やボランティアなどの受け入れ実績はほとんど無い。福祉施設としての社会的な役割、機能、専門性等を考慮して感染症拡大防止策をとりつつも、今後の積極的な取り組みを期待したい。また、併設高齢者施設との交流はあるが、地域との関わりが少なく福祉施設としての機能・役割を果たしているとは言い難い。保育園として新しい社会生活様式や新しい保育の在り方を模索し、現状のコロナ禍下でこれから如何に地域交流・地域貢献するかを考え、一層の地域との関係づくりに向けた取り組みを模索されたい。

○個々の課題を抽出し、さらなる保育の質の向上を目指されたい

今回行った保護者アンケートの総合的な満足度に関する調査の結果は、対象者の92.8%が「大変満足」または「満足」であり、大変高い満足度が得られている。また、園においてもアンケートや行事後の意見や要望、感想などを、園側からの働きかけにより把握し、職員会議などで話し合い改善に向けて取り組んでいる。さらに、第三者評価の自己評価においても園の課題が適切に抽出されており、いくつかのテーマでは改善のプロセスも整理されている。これらの課題に対する改善策を適宜策定し、さらなる保育の質の向上を目指されたい。

○保育士の育成および定着を図り保育の質を充実向上させたい

開園して3年が過ぎ、園の運営は徐々に軌道にのってきたが、保育士の育成・定着を課題としている。昨年度の実績によれば、常勤職員の平均年齢は34.4歳であるが、平均在籍期間は1.9年になっている。また、退職者5名に対して、採用できたのは3名に留まっている。今回行った保護者アンケートの結果を見ると「職員の安定を求める」声が挙がっている。社会環境の変化に伴い、保育内容およびその質の向上が求められる中、保育士の確保および職場定着を優先し、保育士育成の強化に努められたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

開設から4年目の年度に第三者評価受審となりました。
初年度は、職員の保育の方向性の相違に悩み、なかなか保育理念に近づくことができないでおり
ました。
2年目からは園内研修を徹底し保育理念の裏テーマである「第二の母、第二の家庭になりたい」
に向けて同じ方向性をもてるよう取り組んでまいりました。
今回第三者評価を受けたことにより、4年間の振り返りができましたことに感謝申し上げます。
保護者様が保育施設に何を望まれているのか、また地域に貢献できる施設になるためにどう取り
組めばいいのか…等、皆様のご意見を真摯に受け止め、より良い施設になるよう努力を重ねてい
く所存です。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり